

＜連結レバレッジ比率の構成に関する事項＞

【2020年12月末】

(単位：百万円、%)

国際様式 (表2)の該 当番号	国際様式 (表1)の 該当番号	項目	当四半期 期末 2020年12月	前四半期 期末 2020年9月
オン・バランス資産の額 (1)				
1		調整項目控除前のオン・バランス資産の額	3,917,830	3,812,044
1a	1	連結貸借対照表における総資産の額	3,936,834	3,830,303
1b	2	連結レバレッジ比率又は持株レバレッジ比率の範囲に含まれない子法人等の資産の額 (△)	-	-
1c	7	連結レバレッジ比率又は持株レバレッジ比率の範囲に含まれる子会社の資産の額 (連結貸借対照表における総資産の額に含まれる額を除く。)	-	-
1d	3	連結貸借対照表における総資産の額から控除される調整項目以外の資産の額 (△)	19,004	18,258
2	7	Tier1 資本に係る調整項目の額 (△)	11,920	11,731
3		オン・バランス資産の額 (イ)	3,905,909	3,800,312
デリバティブ取引等に関する額 (2)				
4		デリバティブ取引等に関するRCの額に1.4を乗じた額	-	-
		デリバティブ取引等に関する再構築コストの額	265	52
5		デリバティブ取引等に関するPFEの額に1.4を乗じた額	-	-
		デリバティブ取引等に関するアドオンの額	987	958
		デリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた証拠金の対価の額	107	-
6		連結貸借対照表から控除されているデリバティブ取引等に関連して差し入れた担保の対価の額	-	-
		連結貸借対照表から控除されているデリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた証拠金の対価の額	-	-
7		デリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた変動証拠金の対価の額のうち控除する額 (△)	-	-
8		清算会員である銀行又は銀行持株会社が補償を義務付けられていない顧客とのトレード・エクスポージャーの額 (△)	-	-
9		クレジット・デリバティブのプロテクションを提供した場合における調整後想定元本の額	-	-
10		クレジット・デリバティブのプロテクションを提供した場合における調整後想定元本の額から控除した額 (△)	-	-
11	4	デリバティブ取引等に関する額 (ロ)	1,360	1,010
レポ取引等に関する額 (3)				
12		レポ取引等に関する資産の額	-	-
13		レポ取引等に関する資産の額から控除した額 (△)	-	-
14		レポ取引等に関するカウンターパーティ・リスクのエクスポージャーの額	3,873	3,406
15		代理取引のエクスポージャーの額	-	-
16	5	レポ取引等に関する額 (ハ)	3,873	3,406
オフ・バランス取引に関する額 (4)				
17		オフ・バランス取引の想定元本の額	436,575	438,151
18		オフ・バランス取引に係るエクスポージャーの額への変換調整の額 (△)	371,283	372,068
19	6	オフ・バランス取引に関する額 (ニ)	65,292	66,082
連結レバレッジ比率 (5)				
20		資本の額 (ホ)	261,366	249,111
21	8	総エクスポージャーの額 (イ) + (ロ) + (ハ) + (ニ) (ヘ)	3,976,435	3,870,812
22		連結レバレッジ比率 (ホ) / (ヘ)	6.57%	6.43%
日本銀行に対する預け金を算入する場合の連結レバレッジ比率 (6)				
		総エクスポージャーの額 (ヘ)	3,976,435	3,870,812
		日本銀行に対する預け金の額	1,374,432	1,507,739
		日本銀行に対する預け金を算入する場合の総エクスポージャーの額 (ヘ')	5,350,867	5,378,551
		日本銀行に対する預け金を算入する場合の連結レバレッジ比率 (ホ) / (ヘ')	4.88%	4.63%

- ・上記は、平成26年金融庁告示第7号の別紙様式第6号に基づく開示事項です。
- ・旧計算告示第7条の規定によってデリバティブ取引に関する額を算出しております。
- ・「国際様式の該当番号」とは、バーゼル銀行監督委員会より2014年1月に公表された「レバレッジ比率の枠組みと開示要件を定める国際合意文書」における開示様式に記載された項目番号です。

前四半期の連結レバレッジ比率との間に著しい差異を生じた原因 (該当差異がある場合に限る。) 著しい差異はございません。